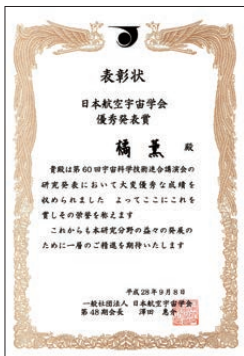


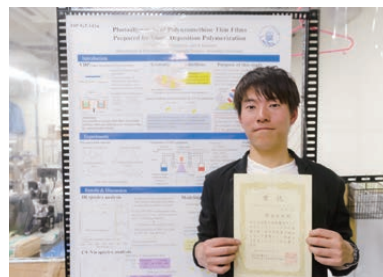
学生表彰1 第60回宇宙科学技術連合講演会 日本航空宇宙学会優秀発表賞

機械工学科 橘 薫

この度、第60回宇宙科学技術連合講演会において、「エミッタ表面状態の改良によるカーボンナノチューブ電界放出カソードの特性向上」という発表題目で日本航空宇宙学会の優秀発表賞をいただきました。私は、宇宙航空研究開発機構および物質・材料研究機構との協力の下、地球周回軌道上に存在するスペースデブリを除去する導電性テザーという宇宙推進システムへの応用を目指したカーボンナノチューブ電界放出カソードを研究しています。導電性テザーの効率を上げるため、低電力作動が要求されます。本研究では、均質化を目指すのが一般的なエミッタ表面の状態をあえて粗くすることによって、カソードの低駆動電圧化を達成し、低電力作動を可能にしました。最後に、私の研究をご指導していただいた大川恭志先生、唐捷先生、張坤氏、小沼和夫先生、山極芳樹先生に厚く御礼申し上げます。



す。討論会では、他の大学の方と交流することで、研究に対する新しいアイデアを得ることができました。最後に私の研究を指導してくださいました久保野敦史教授、松原亮介助教および研究室の皆様にも厚くお礼申し上げます。



学生表彰4 第15回プロセスデザイン学生コンテスト、 分離セクション賞(住友化学賞)

化学バイオ工学コース 渡邊雄亮、阿部雅斗、近藤晟輝

2017年9月8日に徳島大学で開催された、化学工学会主催の第15回プロセスデザイン学生コンテストにおいて、静岡大学チームは、分離セクション賞(住友化学株式会社賞)を受賞しました。

コンテストでは、指定された製品を生産するための化学プラントのプロセスを各出場チームが設計し、事前審査用の提出資料とコンテスト当日のプレゼンテーションで商用プラントとしての競争力をアピールしました。

静岡大学チームは、プロセス運転年数を10年と仮定し、10年間の運転で熱交換器など熱回収機器や未反応物分離回収機器への投資が効率よく回収できるようプロセスフローや機器の設計を行いました。コンテスト出場を通してチームごとに異なるプロセス設計思想に触れ、正解が1つでないプロセス設計ならではの面白さを知ることができました。



学生表彰2 VDECデザイナーズフォーラム2016 VDECデザインアワード奨励賞

電気電子工学科 今西翔馬

この度、VDECデザイナーズフォーラム2016において、「3タップラテラル電界制御型変調素子を用いたインパルス駆動型TOF距離画像センサ」という発表題目でVDECデザインアワード奨励賞を受賞しました。本研究はTOF法による距離計測の分解能を向上することで3Dスキャナへと応用し小型な3Dスキャナの実現を目指しています。3年間この研究に取り組み、このような賞をいただくことができ大変喜ばしく存じます。最後に、私の研究をご指導くださいました川人祥二教授、香川景一郎准教授、安富啓太助教に厚く御礼申し上げます。



学生表彰5 ICMU2016国際会議で 最優秀学生ポスター賞

数理システム工学科 山田 暁裕

私はドイツで行われた国際会議ICMU2016でポスター発表を行いました。私は、車が車々間通信を用いて、車載カメラで撮影した画像をその画像を必要としている車に低い通信トラフィックで配信するための方法に関する研究を発表しました。研究を英語で伝えられるか不安でしたが、研究室の先生を相手に何度も発表練習をし、乗り越えることができました。表彰式で名前を呼ばれた時は、今まで研究や発表練習をしてきた分、大きな喜びを感じました。休憩時間には多くの食事が用意されており、学外の方と考えを共有しながら食事をするのは良い経験になりました。ご指導くださいました石原進准教授、及び研究室の皆様にも厚く御礼申し上げます。



学生表彰3 第7回有機分子・バイオエレクトロニクス の未来を拓く若手研究者討論会 ベストプレゼンテーションアワード

電子物質科学科 神谷正紀

この度、第七回有機分子・バイオエレクトロニクスの未来を拓く若手研究者討論会において「ベストプレゼンテーションアワード」を受賞しました。

発表題目は「蒸着重合中の偏光紫外線照射によるポリアゾメチンの光配向」です。本研究では真空蒸着を応用した蒸着重合法という成製法を用いて、有機半導体への応用が期待される芳香族ポリアゾメチンを成膜し、さらに紫外線照射によって高い配向度の薄膜を得ることを目標としていま